



### 5年生が熟議に参加（須恵小学校）

須恵小学校の学校運営協議会では、昨年度から5年生が参加して学校や地域の課題解決について提案しています。今年度は、『あいさつをもっとする』『やさしさを高める』ために、学級で話し合ってから代表児童が委員に提案しました。プレゼンテーションの資料も伝わりやすいように自分たちで作り、分担して説明していました。和やかな雰囲気の中、児童は話したことが認められたりアドバイスをもらったりして、ほっとしたようでした。話し合ったことを基にして、来年度、計画・実施していくことになります。



### 地域の学習ボランティア等によるテスト対策（埴生中学校）

埴生中学校区の学習ボランティアや山口東京理科大学の学生が、中学校のテスト週間に合わせて、放課後に地域交流センターのスタディルームを利用して希望生徒の学習をサポートしています。毎回10名以上の生徒が参加し、ワークの問題に黙々と取り組んでいます。ワークを終えた生徒は、友達と問題を出し合ったり教え合ったりしてテストに備えています。学校や家での学習とちがった雰囲気の中で、生徒は熱心に学習しています。地域学校協働活動推進員の提案で始まった取組が、生徒の自主的な学習態度を育んでいます。



### 清涼飲料水やジュースの飲みすぎに注意（高泊小学校）

高泊小学校の5年生が、オレンジジュースやスポーツドリンク、マスカットの果汁、カルピスの原液、お茶などに入っている砂糖の量を比べようというテーマで、山口東京理科大学の出前講座を受講しました。試験管の溶液に重りを浮かべて、沈み具合で濃度を知る方法を教えてもらって実験をしました。子どもたちは、予想とちがう結果の試験管をじっと見つめたり、「ええーほんとう」とくやしがりたりしました。また、砂糖の量の多さに驚いた児童は、「こんなにとっていたのか」「バランスのよい食事をしよう」と話していました。

